

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4022	(H.24)No.	4022-2
-----------	------	-----------	--------

事務事業名 社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良) (道路河川室分)			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	道路河川室	中森 厚志	63-7693
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	392003
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)
項	道路橋梁費	(小事業名)
目	道路新設改良費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>国の社会資本整備総合交付金制度を活用し、既存道路の利便性・安全性向上を図るため、計画的に道路整備を実施します。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>観光ルートや生活道路として重要な役割を担う各路線を整備することにより、交通利便性の向上を図り、円滑で安全な通行を確保します。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施		
	市道改良(6路線) 106,434千円 ・改良工事 L=784m ・測量調査 N=4路線 ・用地買収 A=5742.85㎡ ・補償補填 N=1式 ・委託費(分筆登記業務等) ・事務費(不動産鑑定等)		市道改良(6路線) 109,015千円 ・改良工事 L=465m ・測量調査 1式 ・事務費 1式		業務委託(全部・一部)により実施		
	22年度からの繰越明許費 11,509千円				指定管理		
	24年度への繰越明許費 59,720千円				補助金・交付金		
					その他 ()		
	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)	社会資本整備総合交付金制度においては、平成25年度までの事業承認のため以後の計画記載はできません。			
直接事業費	(11,509千円) 106,434千円	109,015千円	150,000千円				
財源内訳 (千円)	国庫支出金	(9,209) 58,245	59,950	82,500			
	県支出金		0	0			
	地方債	2,300 48,100	48,900	67,500			
	その他()		0	0			
一般財源	(0) 89	165	0	0	0	0	
人工数	職員	(2.20人) 2.20人	1.80人	1.80人			
	臨時職員等						
概算人件費	(16,060千円) 16,060千円	13,140千円	13,140千円	0千円	0千円	0千円	
+ 総事業費	(27,569千円) 122,494千円	122,155千円	163,140千円	0千円	0千円	0千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	m	-	-	-	-	465
	実績		638	720	457	784	
成果指標	目標	%	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.1	45.5	44.4	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
公共事業予算が年々減少しており、完成時期の遅れが生じている。今後は、抜本的な改良に加え待避所や道路空間を活用した部分的な改良など、柔軟な整備手法の検討を要する。	引き続き国の補助制度の活用により、計画道路の改良を推進します。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
国、県事業の促進に関連し、当該事業制度の活用による市道整備の関心が高まると予測される。	厳しい財政状況は理解するが、効果的・効率的な事業促進を望む

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	効果的な資材や工法の採用
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	・地域内幹線道路の整備(薦原) ・地区内道路の整備推進と歩道の確保(蔵持) ・道路拡張、改良(青蓮寺・百合が丘)
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	一部、社会資本整備総合計画に基づき実施
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	柔軟な整備手法(部分改良等)の検討

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行) 「継続(現行)」の場合のみ理由を記載 地域間を結ぶネットワーク道路の整備については、「活力ある地域」、「より良い生活環境の確保」のための重要課題であるため、引き続き国の補助制度を有効に活用できる整備計画について検討する。
--

特記事項

--